

第2回「寒河江市学校施設整備計画」地域説明会 質疑応答

会場：この木交流センター（柴橋地区コミュニティセンター） 会議室

日時：令和4年10月26日（水）19時30分から21時00分

参加人数：36名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

学校再編整備室 室長補佐（兼）係長

学校再編整備室 学校再編整備係主任

（学校教育課長）

事務局からお願いがございます。説明会の意図として、多くの方からご意見をいただきたいのでご発言をお願いします。小・中学校の検討案について、いろんな面からご意見をお願いしたいと思います。質問からお受けしたいと思います。質問のある方よろしくをお願いします。

（発言者A）

財政的な面で1回目の説明会から伺っておりますが、具体的にはどれくらい違うのでしょうか。ランニングコストもあると思うので、そこらへんも含めて教えていただけるとありがたいです。

（教育長）

建設費について、今、いくらくらと申し上げることはできませんが、1つの参考例として高畠中学校の建設費が約50億円でした。ですから生徒数を考えると1校案とすればこれよりも多くかかるということですし、2校案とすると、これかける2とまではいかないと思いますが、それなりにかかると思います。ランニングコストどれまで入れるかということもありますが、例えば、現在の学校の光熱費は約2400万くらいかかっていますし、その他の経費を入れれば、（管理費で）3000万くらいはかかっていると思います。

（発言者A）

光熱費は全部の寒河江市の学校で3000万ですか。

（教育長）

光熱費だけでみれば、中学校3校でということですよ（修正しました）。小さい学校と大きい学校で違うと思いますので。

（学校教育課長）

その他ご質問ございますか。

(発言者B)

建設費の話がありましたが、50億の内、高畠町の自主財源として支払われたのは何億だったのでしょうか。これがですね、50億全部高畠町から出ているような誤解が生じるような表なんです。第3回委員会で事務局の方から学校を建設する場合、全額市の自主財源ではないと。文部科学省からの補助金、あるいは国の交付税もあるんだというお話ですよ。この辺を整理していただいて、市民に明らかにすべきだと思いますがいかがですか。

(教育長)

わかりました。国からの補助金はいろんな項目とか、どういう形で建築するかによっても違いますが、1/2とか、1/3とか、そうした割合での補助金があると、概算で言えばですが。

(発言者)

その他に国からの交付金もあるんですか。

(教育長)

交付金というと、補助とはまた別ということですか。

(発言者)

わかりません。委員会の中でそう説明されているのでお伺いしたのですが。

(教育長)

手元にそれぞれの項目のものはありませんが、いろんな項目でどういう作り方をするかで違うと思います。

(発言者B)

そういったことも含めて、説明するときにはこうした表で詳しく説明していただいた方がわかると思います。かなり軽減されてくるのではないかと思います。あとは、ふるさと納税、かなり蓄えていらっしゃるようですから、寒河江市の場合は収入多いし、必要経費を除いて何億とあるわけですから。こういったことも含めて、教育委員会も市の予算として何らかの支援が受けられるかどうか、学校建築に負担するものがなくなってくるかなと思いますので、そういったところを追及していく必要があると思います。

(教育長)

ありがとうございます。

(学校教育課長)

その他ございますか。

(発言者C)

小学校の評議員とか、運営委員ということでやっているのですが、学校で会議をやりましても、先生の方からこの話を聞いたことがなかったんです。令和元年からスタートしたということで、この4年間、学校の先生方はこれを聞いて行動しているのかをお聞きしたいと思います。我々に話をしてくれるのはありがたいのですが、学校の先生方に一番にしわよせ、というか問題がでてくると思うので、先生方がどのように思っているのかお聞きしたいと思っております。

(教育長)

計画については、あり方検討委員会で2年半検討してきましたが、その部分の周知が足りなかったと反省しているところです。先生方のこの計画についての考えは、それぞれあると思います。ただ、小学校で、例えば複式学級には複式学級の良さがありますし、少人数には少人数の良さがあるんですが、学年で複数クラスあった方が、いろいろ相談しながらやっていけたりとか、お互いにカバーしながらやっていけるのでよいということはあると思います。また、どうしても子どもたちも、友達関係で合う合わないがあるわけです。ずっと少人数のままで同じメンバーでいくと、それはそれで仲良くなっていいという面もあっていいのですが、つらいと感じる子どもさんもしらっしゃる場合もあるかなと思います。あと、中学校の統合に関しても、大規模校でダイナミックに行事等もできますし、そうしたことでやっていくのがいいと考えている教員もいると思いますし、また、4学級や5学級それくらいの規模の方がよいと思っている教員もいると思います。

(発言者C)

ありがとうございます。先生たちの意見も列記してもらった方がわかりやすいと思います。先生たちが考えていることがわかりません。蚊帳の外なので、その辺も目立ったものは列記してほしいなと思っております。よろしく願います。

(教育長)

ありがとうございます。

(学校教育課長)

その他ご質問ございませんか。

(質問者B)

28ページですね、統合中学校の建設について、3校を統合した場合に、新中学校を建設という表現をとります。ロードマップを見ますと、新校舎を建設すると言っています。28ページには、改築という表現をとっています。どう違いますか。

(教育長)

28ページの改築というのは、その敷地のところに新しく建てるという意味で改築としております。新築とほぼイコールと考えていただいてもいいかなと思います。

(発言者B)

そうですね。文言は整理した方がいいと思います。新築じゃないという誤解が生じてしまう。文科省の補助金とか交付金がかかわると思いますが、まったく新築なんですよ。

(教育長)

検討案として、そうです。

(発言者B)

わかりました。

(学校教育課長)

その他ご質問ございませんでしょうか。

(発言者A)

P T Aの検討会の議事録みないたものを見たのですが、小学校では、中学校1校に対する不安は多く見えたような気がして、中学校では逆に1校案について肯定的な意見が多いかなと文字の上ではみえたのですが、話し合いのみなさんの保護者の1部の方だったのかと思うのですが、どんな感じだったのかお伺いできればありがたいです。

(教育長)

中学校の役員の方に集まってもらってお話いただいたわけですが、今おっしゃられたように、概ね1校案に賛成という意見が多かったです。高校に進学すれば大人数になりますし、社会に出ればいろいろな人とつきあっていくことが必要とされますし、社会性を身に付けさせたいといったことを考えると、大規模の方がいいだろうというご意見でした。こういう状況で今後この表にもありますように生徒数が減っていくのであれば、1つの学校で、いい設備を備え、資源等を集中して、それこそ他の町から、それだったら行ってみたいと思うような設備を作って学ばせたいという意見が多かったようです。小学校の方のP T Aの方だと、小学校は中学校と比べると現在は少ない人数ですので、いじめとかそういった問題が、大きな学校では多くなるのではないかと、そういった不安な点があるということで、9百何十人は多いよねというご意見も多かったかなと思います。ただ、中学校の方と同じように、将来的に考えると1校案もありかなというご意見もございました。おっしゃられたように、中学校の1校案については、中学校の保護者の方は概ね賛成だけでも、小学校の方は心配が多いというような感じでした。

(発言者A)

それは、今、中学校は3校ありますよね。それはどこの方も同じような感じですか。それとも、大きな学校のお父さんお母さんはそう思っているという感じですか。

(教育長)

どこの学校も概ねそういった感じだったと思います。

(発言者A)

ありがとうございます。私の子どもが小学生以下なので、大きいのはちょっとなと思っているのですが、中学校に通学させている親がそう思うのであればという気持ちもありますし、子どもたちに聞いてみてほしいという気持ちもあります。今の中学生や最近まで中学生だった高校生あたりに。将来的に寒河江に残れば、保護者になる立場の人ですので、その辺の意見も聞いてもらえればと思います。このあと検討するにあたって、アンケートとかとる予定はあるのでしょうか。

(教育長)

今のところアンケートとして予定しているわけではありませんが、先ほどあいさつでも申し上げましたように、保護者向けの説明会、今のように細かいところもやりとりできる説明会をやってほしいということが、第2回の説明会でもいろんな会場で出されました。今回の説明会は、今日で8回目なのですが、今日は多くの方にお集まりいただいて大変ありがたいと思っています。これまでの説明会では、10数人くらいとか、少ない状況もございまして、保護者の方のご意見もなかなか聞く機会もなかったということもあるので、保護者の方、そして小中学校だけでなく、これから統合等に直接かかわる子どもさんがいる幼稚園、保育所、こども園等に通わせていらっしゃる保護者の方にも一緒に説明したり、細かいことについても、心配なことや不安な点とかをやりとりさせていただく機会をつくりたいと計画しています。そういったことでご意見を伺いたいと思います。

(発言者A)

先ほどの教員のところで、担任外という言葉がでていたと思うのですが、担任外ということの意味合いですとか、具体的にその先生がどういうことができるから担任外が多いとよいとか教えてもらいたいのですが。

(教育長)

小学校も中学校も教員はクラスをもっている担任が多いわけですが。中学校になると教科によって教える人が違うので、教員の数も多くなります。例えばクラス数だけ毎時間授業をしているわけです。その場合、小さい学校だと授業している以外の先生の数は、とても少なくなります。例えば、柴橋小だとクラスで授業が行われている場合に、その時間に授業を持っていない人は、1人か2人くらい

しかいなくなると思いますが、規模が大きくなると、クラスで授業している以外の先生方もある程度多くなってきます。その時に、例えば、なかなか教室に入れないお子さんですとか、どうしても教室でなかなか勉強できなくて、教室を飛び出してしまうお子さんや、適応教室である寒陵スクールに行っているお子さんなど、いろいろな状況の子どもさんにも対応できる教員の数が多くなるということですね。

(発言者A)

ありがとうございます。今、ハードの話をしていると思うのですが、もし中学校が1校になったら大きくなりますよね。それでもクラスは、平均とってクラス分けすると思うのですが、例えば、科目によって国語とか数学とか、学力によってクラス分けするのは市単位で決められるものですか。せっかく大きくなるなら、こどもたちの理解度が深まるように、それぞれの学習のレベルにあわせてそういうことができたりすると、ただ大きくなったんじゃなくて、高校とかにちかづくとか、もしくは、大学のように子ども側が講義(授業)を選べるとかそのようなことは市の裁量でできるのでしょうか。

(教育長)

それは学校の裁量でできるものもあります。ある程度大きくなると、数学の教員が5、6人になりますので、同じ時間帯に数学を3クラス一緒にできるわけです。そのときに、いわゆる習熟度別クラスということで、より高いレベルの学習をするクラス、通常の学習をするクラス、基礎基本をゆっくりやるクラスというように分けての授業を行っていたこともありますし、そういったクラス編成がやりやすくなるというのはあると思います。

(発言者A)

やっていたこともあるというのは、どこでやっていたんですか。

(教育長)

最近あまり行われなくなったんですが、10年くらい前は、陵南でもやっていたと思います。小さい学校だとなかなかそういった時間割は組めないのですが、大きな学校だと3クラスの一緒の数学を時間割で組んで、例えば、A・B・Cのクラスを選んでといったことも実際に行われていました。

(発言者A)

学校の施設を考えると、同時にこの学校はこうしますと決められるんですか。校長先生が変わったら方針も変わっちゃうんですか。

(教育長)

同時にといいますと。

(発言者A)

ハードとソフトは切り分けては考えられないと思うのですが、大きくするならそれくらいのことをやってもらいたないと思っていて、そこをセットでこうしますよと決められるものなのか、それとも、そのときの校長先生に任せられちゃって寒河江市の中学校はこうですよと決められないものなのか、ということなのかと思って。

(教育長)

授業の内容については学習指導要領に基づいて行うことになっています。ただ、やり方については先ほど申し上げたように習熟度別クラスであったりとかは、学校の判断でできます。ただし、ある生徒は、国語の授業をいっぱい受け、数学は少なくとか、ある生徒は社会をいっぱい受けて、理科を少なくとかはできないということです。

(発言者A)

高校とかはある程度、高校ごとにあると思うのですが、それを生徒側が選んで入りますよね、そういう感じで中学校も寒河江市の中学校として決められるということではないということですね。

(教育長)

そうですね。

(発言者)

わかりました

(教育長)

その他ご質問ある方いらっしゃいますか。

(発言者D)

小学校の統合と中学校の統合が密接にかかわっているわけですが、その前提として、中学校の統合が決まっていなくても、基本、例えば小学校のA案でいけるんですか。中学校のABC案がどこになろうか、どの案になろうか、私は小学校はA案がいいなと思っているのですが、A案が可能なときに、中学校のA案B案C案、どれであろうか、小学校はA案でいけるということですか。

(教育長)

計画では小学校・中学校ともA案ということだったわけです。ただ、A案とすると先ほど説明にもあったように、小学校での統合を経験して、中学校でも統合を経験するとなってしまうということで、その辺がちょっと難しいところがあるかなと思います。例えば、中学校2校案と考えたときにも、陵東、陵西学区の小学校をまず1回統合して、そして陵東、陵西の統合となると、結局、中学校でも統合を経験するとなってしまうかなと思います。

(発言者D)

それで、陵東と陵西については、統合した場合に新しいところに移るという考え方ですか。

(教育長)

それは、もしそうなった場合に今後どうなるかということを考えていかなくてはいけないと思いますが、例えば、今の陵東のところにとというのは1つの選択肢かなと思います。

(発言者D)

そうしたときには小学校は陵東中の跡地に移れないということになりますね。そうした場合に、小学校を統合した時に、別なところに小学校を建設するということですか。

(教育長)

5校統合の小学校は、そういう計画だとそうなると思います。

(発言者D)

中学校についてなんですが、小学校はA案がいいなと思うのですが、さきほどありましたように、2回統合を経験するということはあると思うのですが、いったんそれは置いときまして、中学校についてはC案、中学校2校がいいと思っるところです。1校ですと900名をこえる。それから何年か経つと900人をきるということですが、1学年10クラスということですね。私も教員をしていたということもあるのですが、300名をこえる学年は、ずいぶん昔はありましたが、今ですと200名から250名くらいということで、自分の関わる学年というか、ある程度、目が行き届くということを考えてときに、なおさら中学校は義務教育ですので、私は1校よりも2校の方が、ある程度きめ細やかな指導ができるんじゃないかなと過去の経験として思っております。小学校はA案、中学校はC案ということで、さきほどありました2回経験するということはあるのかもしれませんが、私の過去の経験からいうとよろしいのかなと思っるところです。

(教育長)

ありがとうございます。私も学年1クラスで生徒数が8名というクラスを担当したこともありますし、河北中にいたときは960名ということで、40人学級で8クラスとか9クラスとかありました。それだと、全員に授業するのはできない状況もありました。ただ、学校行事とか学年行事は、とてもダイナミックで、こういう学校でないと経験できないなと思うこともありました。両方いい面ももっとこうあればなということがあると思います。ご意見ありがとうございます。

(学校教育課長)

ご意見も含めましてお受けしたいと思います。

(発言者E)

市議会議員です。今日は貴重な柴橋のみなさんのご意見を拝聴するためにきたのですが、1点だけ教育長から回答あった市民アンケートもとったらいいんじゃないかという意見があったんですが、先日議会に示された8月に行った新第6次振興計画に係る市民アンケートの結果が提示されました。3000人に対して1000人が回答したそうです。市民の評価が高いのは、市長がやっていた小中学校の学校給食完全無償化、寒河江産食材を利用した給食の提供などの食育の推進や子育て世代の負担軽減が第1位、トイレの洋式化、エアコン設置などの教育環境の整備が第2位、今後の重要度の第3位が小中学校等の避難所を含めた地域防災力を高めてほしいということ、第2位が食育の推進や子育て世代の負担軽減の意見だったそうです。学校関係のところについて市民のみなさんの期待度が高いということでした。主な意見として、学校統廃合について、何人かが書かれていた内容ですが、少人数学級できめ細かな指導を望む、意見交換会だけでなく説明会以外の市民の意見を拾い上げる方法を考えてほしいという意見だったそうです。貴重な意見としてお聞きしたところですが、もう一つ、そのずっと前になると思うのですが、あり方検討委員会で保護者がアンケートに答えたというのが、あり方検討委員会の議事録などを見ると明らかになっているのですが、陵東中、陵南中の保護者の6割が現状維持を求める、なにも統廃合なんていいと、今の学校規模で十分だというふうなご意見が多数を占めたところに書かれています。もう一つ、複式学級が予想されていたにも関わらず三泉小31年前、醍醐小19年、統合なっただけですけれど幸生小はたしか30年前に新築されて、現在、皮肉にも統合の理由にされている、あるいは統合されてきた。最新の小学校が統廃合のターゲットになってきているということです。全国的には、少人数学級によるきめ細やかな教育が進められ、必ずしも統廃合ありきで議論されていないと専門家がおっしゃっています。その理由は、文科省の手引きに地域の実情を尊重することと提示されているということでした。先ほどの方が2校案がいいんじゃないかということでしたが、多くの市民も現状維持、あるいは少なくとも2校案ということで、1校案は望んでいないのではないかと思います。

(教育長)

ご意見ということでよろしいわけですね。

(発言者)

はい。

(学校教育課長)

その他ご意見ございますか。

(発言者F)

私も含めて何人か地域づくりとしまして、コミセンについて携わっている人がいるわけですが、柴橋小の場合は、今回は具体的な検討には入っていないということでもよろしいですか。今後、予定もされるわけですし、小学校とタイアップした地域づくり、柴橋づくりに力を入れていまして、今月の末にはオールしばはし文化祭、そのなかに柴橋小の柴小祭も一緒にタイアップして、30年くらい続いている状況です。最近では、防災体験についても一緒に4年生の体験と併せて、避難所の設営なども一緒にやったりしております。教育的な、専門的な話の中では、なかなか理解できない部分もあるのですが、地域と一緒にした小学校、そういうことを考えますと、どうしても人口が子どもの数が少なくなって、統合せざるを得ないというのは、メリット、デメリットを十分考えてお願いしていきたいと思います。学校が統合なれば空くわけですね、そういったところの利用とかでてくると思うんです。壊すということであれば、再利用がないわけですが、今現在寒河江市でも、コミセンは柴橋だけですが、これからの寒河江市におけるコミセンの推進というのは、はっきりしていない。そうした中での統合との兼ね合いにおける学校、公共施設の使い方といいますか、公共施設の配置にでてくると思うので、そういったところのコミセンの寒河江市としての推進に対する施設の利活用とかそういったことも当然関係してくると思いますので、意見として述べさせていただきたいと思います。

(教育長)

ありがとうございます。公共施設の配置とかちょっと遅れてきたところがあるのかなと思います。教育委員会だけの問題ではないですので、関係各課と協議していかなければならないと思います。

(学校教育課長)

その他ございますか。

(発言者G)

子どもたちが年々少なくなっていく現状ですが、逆に放課後児童クラブを利用する子どもたちが、年々増えている、学校の児童数と反比例しております。放課後児童クラブに関わっている人たちにとっては、今回の話はとても重要になっているところです。理想では、学校の例えば施設内に学童の施設を置いていただくのがよろしいのかなと思います。国の方で一つの学童の人数がおおむね40人となっております、例えば寒河江中部小、今話になっている西根小、寒河江小、やはり年々学童の人数が増えているということで、1クラブ40人、40人が確保できない現状だと思います。全国的に見ますと理想なのは学校の敷地の中に学童の施設を設けてやっていただければなという考えがありまして、これから市の方で学校再編について検討されるわけですが、放課後児童クラブにつきましても、そういった形で検討いただければありがたいと思っております。

(教育長)

ありがとうございます。今お話しいただいたことは、これまでの説明会でも小学校の保護者の方からでております。放課後児童クラブをどうするかは、すごく大きく大事な問題だと思います。子育て推進課も、そうした問題を検討する会を立ち上げていきますし、私たちも、説明会等で出されたご意見は、子育て推進課に伝えて、よりよい学童になるようにしていきたいと思います。

(発言者C)

学校の会議のときに、運営委員会のとき講習を受けまして、コンソーシアム構想について聞いたのですが、すごい構想だと思って質問したのですが、私一人なのでぜんぜん進んでないんですよということでした。それを見ていて、この方一人でこの構想をやったのかなと考えてみたんです。コンサルかなんか入っている今回の再編のこともやっているのかなと思ったのですが、そういうところからも話を聞いて進めているのかなと思ったので聞いてみたいと思いました。

(教育長)

コンソーシアム構想というのは、これまでで言うとキャリア教育ということで、中学校では、企業さんをお願いしての職場体験などがありました。小学校でも、職業について、もっと興味関心をもってもらおうという思いがあります。寒河江市内にも世界を相手にして活躍している企業がたくさんあるわけですね。また、すごく地域住民の役にたっている企業もあります。そうしたことを小学生や中学生は知りません。そこで、そうしたことをよく知ったり、体験したりすることを、よりやりやすくということで、今までですと学校の先生が企業に電話して訪問の予約を取ったりしていたわけですが、そうしたことを教育委員会が事務局としてやっていこうということです。担当の方が、企業等をまわって説明したり、企業一覧を作成しホームページにのせたりしながら、準備を進めています。その一環として、少年少女発明クラブの開設などの事業も行っています。教育委員会の中に事務局を置いて進めている状況です。

(発言者C)

陵南ブランドとは関係ないはなしですか。

(教育長)

直接は関係ないです。ただ、趣旨として、地域も学校も企業も、みんなプラスになるようにという点では同じだと思います。

(発言者C)

陵南ブランドはまだ生きているんですか。話が見えなくなっていますが。

(教育長)

そうですか。

(発言者C)

コンサルは入っていないわけですよ。

(教育長)

入っていません。

(発言者B)

中学校を2校にするか1校に統合するかというお話の中で、保護者の方のお話では、1校案が結構あったのではないかと話ですが、あり方検討委員会では答申として、パブリックコメントをもらう前に答申しているんですね。パブリックコメントには非常にたくさんの意見がでて、こんな計画ではだめだという意見。それもパブリックコメントの提出者30人、50件ありますが、そのうちの8割が60歳以上の方、まさに市民の声ですよこれ。回答を見直さなければならぬと思います。回答をみると答申にあったとおりでという言い方をしている。教育長、これ見直さすんですよ。市民の要望があれば、そういうことが必要だと思えます。パブリックコメントをやった時期がまずかったと思えます。パブリックコメントを見たらうで答申すべきだったんですよ。そして市がこの計画を策定するやり方でやっていかないといけないんだと思えます。他の方から学校の運営について、生徒に目が届くのかというお話、当然、目が届きませんよね。そういったことが今回の資料には書いてないですよ。大規模になったら、いろんな国、県からの通知、通達に先生方の目がいきわたるかというといかないですよ。ここが問題なんです。そういったことを、今の小中学校の保護者の方々、メリット、デメリットの説明した上で意見をいただかないと、別な方になってしまうんじゃないですか。この答申を見てもとても不適切な運営だったと思えます。傍聴できませんでしたし、それから議事録も公開されませんでしたし、一番の問題は、事務局が誘導するかのような発言が散見されます。申し上げますか、1回目事務局、今回の検討内容がまとまってから施設整備計画の作成に着手すると間に合わないから、私どもの方で施設整備計画を少しずつ進めていきたい。そんなのおかしくないですか、答申もでてないのに設定するんですよ。こんなことはだめです。それから、教育長、第3回のページ14、誘導するわけではないですが、大規模でというケースは全国的にありますし、市内ではなく管内での競い合いになるのであれば1校でもよいかと思えます。これは誘導してんじゃないですか。第3回ページ15、委員の財政的には1校にした方がよいという発言に対して、市としては大変助かります。そんなこと言っているんでしょうか。第7回ページ9、事務局、具体的な計画になったときにパブリックコメントをした方が事務局としてはよろしいのかなと、そんなこと言っちゃいけないんじゃないでしょうか。第9回6ページ、委員長、今のような事務局のスタンスもありますので、なぜ事務局に委員長が気を使うんですか。おかしくありませんか。第10回ページ4、委員長、教育委員会の意見を含めますといかがですか事務局さん。そんなおかしくありませんか。ということで、委員の方々が自由に活発に発言できるようなあり方検討だったのかと思えます。これが一番気になったところです。だから何を言いたいかという、それぞれの保護者の方からアンケー

トなりご意見をいただくときは、もうちょっと整理をしていただいで、さきほどの方からもありましたように、こういう新たな問題もあるんだよとしっかり説明していただかないととても気になります。委員長が発言を繰り返しているのもそうですが、市が最終手に判断すると何回言っていますか。何度もそういっていたら委員の方がなかなか発言できなかったのかなと気の毒に感じます。よろしいでしょうか。非常にこれからの教育長がやるべき市民の方々から意見をもらうときの留意事項としてそのように申し上げます。私は計画を見直ししてほしいと思います。パブリックコメント50件、これに対してもう一度新たな回答をだしてください。今までとは違う対応をしなければならないというそういうお考えでしょう。何度も言いますが、地域の意見そのものですよ、ということをご提案します。以上です。

(教育長)

メリット、デメリットを保護者の方にもわかりやすくということは、そのとおりだと思います。先ほども申し上げましたように保護者向けの説明会を計画しますので、そこではそういったこともやっていきたいと思っています。

(発言者H)

今日が最後だということで、私は、第2回の説明会の最初の回からできるだけ出席してきました。市民の方から、よくわからないという話があったこと、誰が決めているのかという声があった。自分たちの意見が聞いてもらえない不信感や不安、不満が強かったという背景があります。西部地区から始まった説明会から同席しましたが、西部地区の人たちがよく言うのは、複式学級の解消という諮問委員会の答申があるが、自分たちは複式学級が悪だとは思っていない。先生方が努力されて良く育ててもらっている。今の状況に何が悪いんですか。私たちは満足しているという話がありました。もう1つは、パブリックコメントの中にもありましたが、この小中学校統合の問題は、義務教育の在り方の問題もありますが、学校は地域に支えられ地域のコミュニティーを維持してきたという事実があるわけです。昭和の合併で、白岩村、高松村、醍醐村、三泉村、柴橋村、西根村にそれぞれ小学校、中学校があったんですよ。それが陵東、陵南、陵西に中学校で統合してかろうじて地域性は維持できたんです。スクールバスの通学になっていませんし、歩いて登校できる範囲で出来ていましたから。そういう背景を考えると今回の統合再編というのは、地域の均衡ある発展が維持できてきたところに、今回はそれがなくなろうとしているような、かなり強引で無謀な計画ではないかという不安を感じているんです。それについて、きちんとした説明がない。先ほども提案がありましたが、パブリックコメントでは回答にはならない。諮問委員会の中で検討したからという回答が、当然かのようになされている。さらに、令和4年度に用地買収の選定予算まで組んでいる。この計画は構想ですか、基本計画ですか、実施計画ですかと聞いたが、教育長は回答なされていない。今後、この検討を進めるにあたって、3つしっかりやっていただきたいなと提案したいと思います。まず、意見を聞いて、どういう風にまとめられるのかということとです。今日のあいさつのなかでも、その後どうするという説明がありませんで

した。どのようにまとめるかは示されていない。何度も意見を続けているのですが、回答はまったくない。これでは聞いている人たちが自分たちの意見がどうなるかまったくわからない状態です。

2つ目、いろいろ質問がでていますが、計画内容が不十分だということが明らかになっています。建設費の問題でも、ハード面、ソフト面があるはずで、ランニングコストは検討されていない、回答されていないですね。さらには通学の範囲を選定するときの基準は示されました。けども、この寒河江市にあわせてどの辺を候補地にするのか、地域の問題をふまえてどうするのか。まだ検討されていない。跡地利用の問題もあります。まだ検討されていない。これでは数十億かかる大型投資に対して、ずさんとしか思えない。もっと体系的に案ごとにどうなるのかをきちんと示されて案を提示して市民に諮るべきだと思っております。

3つ目、市民の合意形成を図りながら統合計画を進めるのが基本だと思います。その合意形成の図り方には、さきほど指摘したようにパブリックコメントの時期の問題があるわけです。答申がなされたときに、市に任せますとなったときにパブリックコメントをしてもよかったんです。公聴会を開いてもよかったんです。あるいは、委員の中に地区代表の方もいるので、地区代表に持ち帰ってもらって地域の声を聞いて来てくださいという手があったはずなんです。そういう合意形成の手法を検討しないで、強引に計画を作っているというこの辺のところはしっかり改善して、合意形成を図れるように進めていただきたい。以上です。

(教育長)

ご意見ありがとうございます。複式学級については、悪だとは一回も言っておりませんし、複式学級の良い点は十分あると説明申し上げております。複式学級でとっていいという保護者の方と、もっと多い人数の中で切磋琢磨させたい、人数が少ないと経験する度合いも少なくなってしまう、もっと大きなところでもまれて成長させたいと思っている保護者の方もいらっしゃる。ですから、いろいろなお意見があるわけで、先ほどおっしゃられたように、数十億という大型の事業なので、学校の跡地の問題とか、他の公共施設の問題を含めて考えないとだめだと思います。ですから、教育委員会だけでなく他の関わるところとも調整しながらやっていくということで、いただいたご意見、例えば今日は中学校2校案がいいのではないかという意見も大事な意見として踏まえますし、また、小学校、中学校でも、大きいなりの良さがあるとかいろいろな意見を伺って、そして、公共施設や今後の跡地の問題、地域との関わりなど、そうした問題を一緒に考えていけないといけないと思います。学校の統廃合だけの問題ではないと思います。そうしたことも含めながら考えていきたいと思っております。

(発言者1)

私も1回目から参加させていただいて、今までも同じようなことを伺っております。みなさんにも知っていただきたいのは、先ほどもありましたが、地域の方との話し合いが少なかったということがあります。この点につきましては、1

7日のハートフルセンターのときに私の方から指摘したのですが、本計画の6ページだったと思うのですが、地域の実情を踏まえた学校の配置が必要だと記載なっております。その後、その計画の中にそのことが一切でてきません。そこが地域から学校がなくなる、地域で育ててきた今までの経過、一緒に頑張ろうということが読み取れない、考えていただけなかったのかなということがございますので、これからの提案を申し上げたいと思います。2つあります。

1つ目として、地域との対話の実現が必要、先ほどから説明にもありましたが、文科省の手引きがございまして、その中に学校教育の受益者になる保護者の声を重視しつつ、地域住民、支援組織等と教育上の課題やまちづくりも含めた将来ビジョンを共有し、理解や協力を得ながら進めていくことが大切だときちんと書いてあります。計画ではそこが抜け落ちています。そんな感じがしています。そこから違っているのかなということですので、ここから私としてお願いがございまして。例えば、市の事務局に専門部、地域の調査の専門部を作っていただいて、調査分析、計画の反映を行っていただきたいと思います。ここには出席なされていませんが、市の地域政策の部局ありあすから、地域づくり重要です。そのことをやっていただきたいなと思います。意見もございましたが、地域の中核を担う町会長さんに団体と地域の実情をしっかりと調整していくと、これまでよせられた意見等を分析して、対応方法をきちっと検討すること、多くの市民の方が話し合いに参加できる意見交換の活動をやってほしいと思います。たぶんこれには半年以上かかるかと思います。ですから、ロードマップを示してやっていただきたいと思います。公共施設、これにからんできます。他の説明会でも、例えば文化センターの施設と一緒にしたらという意見もありました。また時間が必要かと思っておりますので、しっかり全市的なことを頭に入れてやっていく必要があると思います。

2つ目です。開かれた議論の場づくりをやっていただきたいと申し上げたい。専門部で市内の団体等で出されたご意見、議論の結果をまとめて発表したり、議論する場を公の場で作っていただきたいと思っております。そうしますと、会合に出られない方、声に出したくても出せない方も参加できるのではないかと考えております。これは、結果を決める、導くということだけでなく、寒河江市の教育をみんなで考えていこうという機運を盛り上げるということにつながると思っております。これには10か月、1年近くかかると思っております。具体的に行程を示していただきたいなと思っております。説明とかにつきましても、きちんとして中々で進めていただきたいと思っております。最後になりますが、こういったことを進めていきますとぜひ公表していただいて、市の組織全体をあげて取り組んでいくということを発信していただいて、市民のみなさんの参画を求めていただければと思います。2つ申し上げましたが、ご採用いただくようご検討をお願いしたいと思います。

(教育長)

今ご意見ありましたとおり、また、先ほど申し上げたとおり学校だけの問題ではないと思います。市役所の関係各課と一緒にやっていくということが、子どもたちにとってもプラスでありますし、保護者の方、地域の方にとってもプ

ラスになっていくと思います。そうしたことを市全体として考えていかなければならないということだと思います。また、地域の実情を知る町会長さん方にも、来月役員の方の会でこちらから説明を申し上げて、ご意見を伺いたいと思いますし、今後とも、連携、協力をお願いしながらやっていきたいと思っています。

(学校教育課長)

その他ございますか。

(発言者J)

先ほどからいろんな提案等でしているわけですが、これについて、いつまでどうするかということ、この場ではできないと思いますが、何らかの方法で示してほしいと思います。ずっとここまで説明会等やってきましたけれども、提案とか聞いているのですが、いつどうするのかぜんぜん聞こえてこない、聞きっぱなしになったら困りますので、ここで再度お話をします。以上です。

(教育長)

ありがとうございます。今日のお話とか、これまでのご意見等もホームページに載せて多くの方々から見ていただけるようにしたいと思いますし、今後のことにつきましては、関係各課と検討しながらやっていきたいと思っていますので、今すぐ、検討をいついつまでとは申し上げられませんが、またお知らせすることにしていきたいと思っています。

(学校教育課長)

ありがとうございました。以上で終了いたします。